

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要（学部）

大学名		岩手大学		設置者名		国立大学法人岩手大学			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (令和４年度)			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
人文社会科学部	人間文化課程	平成２８年度	125人	中一種免（国語）	平成２８年度 (令和元年度)	132人	7人	1人	1人
				中一種免（社会）				1人	
				中一種免（英語）				2人	
				高一種免（国語）				2人	
				高一種免（地理歴史）				1人	
				高一種免（公民）				0人	
				高一種免（英語）				3人	
	地域政策課程	平成２８年度	75人	高一種免（公民）	平成２８年度 (令和元年度)	78人	0人	0人	0人
								0人	
								0人	
教育学部	学校教育教員養成課程	平成１２年度	160人	幼一種免	令和４年度末認定取り下げ	170人	168人	26人	94人
				小一種免	平成１２年度 (令和元年度)			113人	
				中一種免（国語）				26人	
				中一種免（社会）				21人	
				中一種免（数学）				18人	
				中一種免（理科）				20人	
				中一種免（音楽）	平成２８年度 (令和元年度)			14人	
				中一種免（美術）				2人	
				中一種免（保健体育）				8人	
				中一種免（家庭）	令和４年度末認定取り下げ			3人	
				中一種免（技術）	平成１２年度 (令和元年度)			4人	
				中一種免（英語）				22人	
				高一種免（国語）				22人	
				高一種免（地理歴史）				14人	
				高一種免（公民）				10人	
				高一種免（数学）				17人	
				高一種免（理科）				17人	
				高一種免（家庭）	令和４年度末認定取り下げ			3人	
				高一種免（音楽）	平成２８年度 (令和元年度)			14人	
				高一種免（美術）				2人	
				高一種免（保健体育）				9人	
				高一種免（英語）	平成１２年度 (令和元年度)			16人	
				特支一種免（知・肢・病）	平成１９年度 (平成１９年度)			47人	

理工学部	化学・生命理工学科	平成28年度	90人	高一種免（理科）	平成28年度 （令和元年度）	92人	3人	3人	0人
	高一種免（工業）			0人					
	物理・材料理工学科		80人	高一種免（数学）		77人	9人	3人	1人
				高一種免（理科）				7人	
				高一種免（工業）				0人	
				高一種免（数学）				7人	
	システム創成理工学科		270人	高一種免（理科）		273人	8人	0人	1人
				高一種免（工業）				1人	
				7人					
農学部	植物生命科学科	平成28年度	40人	高一種免（理科）	平成28年度 （令和元年度）	40人	1人	1人	0人
	高一種免（農業）			0人					
	応用生物化学科		40人	高一種免（理科）		40人	2人	2人	0人
	高一種免（農業）			0人					
	森林科学科		30人	高一種免（理科）		36人	2人	2人	0人
	高一種免（農業）			1人					
	食料生産環境学科		60人	高一種免（理科）		63人	1人	1人	1人
	高一種免（農業）			0人					
	動物科学科		30人	高一種免（理科）		29人	1人	1人	0人
				高一種免（農業）				1人	
入学定員合計			1,000人	合計	1,030人	202人	488人	98人	
備考	・ 幼一種免、中一種免（家庭）、高一種免（家庭）については令和5年3月に認定取り下げ届を提出済。								

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	岩手大学大学院				設置者名	国立大学法人岩手大学			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の 種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (令和４年度)			
学部	学科等	設置 年度	入学 定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状 取得者数		教員 就職 者数
							実数	個別	
総合科学 研究科	地域創生専攻	平成２９年度	54人	高専免（工業）	平成２９年度 (令和元年度)	56人	0人	0人	0人
	総合文化学専 攻		10人	中専免（国語）		12人	2人	2人	1人
				中専免（社会）				0人	
				中専免（音楽）				0人	
				中専免（美術）				0人	
				中専免（英語）				0人	
				高専免（国語）				2人	
				高専免（地理歴史）				0人	
				高専免（公民）				0人	
				高専免（音楽）				0人	
				高専免（美術）				0人	
				高専免（英語）				0人	
	理工学専攻		180人	高専免（数学）		183人	3人	2人	2人
				高専免（理科）				1人	
				高専免（工業）				0人	
	農学専攻		50人	高専免（理科）		27人	1人	1人	1人
				高専免（農業）				0人	

教育学研究科	教職実践専攻	平成28年度	16人	幼 専 免	平成28年度 (令和元年度)	17人	16人	1人	15人
				小 専 免				10人	
				中専免（国語）				2人	
				中専免（社会）				0人	
				中専免（数学）				1人	
				中専免（理科）				2人	
				中専免（音楽）				1人	
				中専免（美術）				0人	
				中専免（保健体育）				0人	
				中専免（保健）				0人	
				中専免（技術）				0人	
				中専免（家庭）				3人	
				中専免（英語）				3人	
				中専免（ドイツ語）				0人	
				中専免（フランス語）				0人	
				中専免（中国語）				0人	
				高専免（国語）				2人	
				高専免（地理歴史）				0人	
				高専免（公民）				0人	
				高専免（数学）				2人	
				高専免（理科）				2人	
				高専免（音楽）				1人	
				高専免（美術）				0人	
				高専免（工芸）				0人	
				高専免（書道）				0人	
				高専免（保健体育）				0人	
				高専免（保健）				0人	
				高専免（家庭）				3人	
				高専免（情報）				0人	
				高専免（農業）				0人	
				高専免（工業）				0人	
				高専免（商業）				0人	
				高専免（水産）				0人	
高専免（英語）	2人								
高専免（ドイツ語）	0人								
高専免（フランス語）	0人								
高専免（中国語）	0人								
特支専免（知・肢・病）	0人								
入学定員合計			310人	合計	295人	22人	43人	19人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和5年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和5年12月18日（月）オンライン

実地視察大学：岩手大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教員養成に対する理念・構想を明確にしており、それらを具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教育研究実施組織を十分に整備している。
○大学として地域の課題に応える人材養成をうたっており、特に防災教育・震災復興に対応した科目が教職課程にも配置されている。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○コアカリキュラムを満たしていることがシラバス上で判然としない授業科目が散見されたため、現行の授業科目全般について、改めて確認のうえ、シラバス上で明確となるよう整備することを検討いただきたい。
○体系的な教育実習などにより大学の教員と教育現場とのコミュニケーションが密にとられていることが確認できた。引き続き密な連携に努めていただきたい。
○教職課程に関して、FDだけでなく、SDについても定期的実施していることが確認できた。

3. 教育実習の取組状況

○附属学校を中心とした教育実習についてはおおむね、円滑に実施されていることが確認できた。
○1年生からの体系的な教育実習に加え、海外や小規模の学校・複式学級を現場とした教育実習など特色のある実習体系が構築されていることが確認できた。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○年次進行により、順次履修カルテの電子化がなされていることが確認できた。今後は、データの活用についても御検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○教育課程の見直しに関連して、岩手県教育委員会に県内の教員養成の状況についての意見を聞くなどの丁寧なプロセスを踏まえた上で行われていることが確認できた。今後も教育委員会と連携し、地域の中核としての役割を引き続き担っていくことを期待する。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○施設・設備については良好に整備されていることが確認できた。
○学習指導要領については学生が閲覧しやすい環境となるよう、教員養成支援センターのみでなく、図書館への配架も検討いただきたい。

7. その他特記事項

○「地域教員希望枠」の導入の検討や小規模の学校における教育実習など、岩手県の実情を踏まえた教育課程が実施されていることが確認できた。引き続き地域や教職環境の変化に対応し柔軟な教職課程の運営に取り組んでいただきたい。